

日本語の「より」と中国語の「比」との比較

邢 志 強

目 次

1. はじめに
2. 「より」と「比」の共通点
 - 2.1 「より」の用法
 - 2.2 「比」の用法
 - 2.3 構文中のある成文の省略
 - 2.4 「A比B…」の否定形
3. 「より」と「比」の相違点
 - 3.1 「より」の用法
 - 3.2 「比」の用法
4. おわりに

1. はじめに

日本語の「より」と中国語の「比」は、いずれも比較の基準を表す意味を持っている。例えば、

A 姉は妹より美しい。

姐姐比妹妹漂亮。

日本語の「より」は中国語の「比」と同じような意味を持っている。両者はともに「姉は妹に比べれば姉のほうが美しい」という意味を表すのである。しかし、次の例文を見てみよう。

B 私はアメリカより日本が好きです。

この文を中国語に直訳すれば、

× 我比美国喜欢日本。

というふうになる。中国語にはこのような表現はないので、日本語の「より」を中国語の「比」に直訳することができない。それを意味によって次のように訳さなければならない。

○ 比起美国来，我还是喜欢日本。

この例文を見て分かるように、日本語の「より」は中国語の「比」と置き換えられる場合もあれば、そうでない場合もあることが明らかである。以下、日本語の「より」と中国語の「比」の意味用法について比較考察し、両語の共通点と相違点及び性格、特色を究明することにする。

2. 「より」と「比」との共通点

2.1 「より」の用法

日本語の「より」は、人や物事の性質、状態などの比較の基準を表す。この比較表現を細かく分けると、次の通りである。

2.1.1 「AはBよりPだ」。人や物事そのものの性質、状態などを表す。中国語の「A比B…」に相当する。

- (1) 弟は兄より英語が上手です。
弟弟的英语比哥哥好。
- (2) 文法は英語より日本語の方が難しい。
日语的语法比英语的语法难。

2.1.2 「Aの～はBよりPだ」。人や物事のある側面の性質、状態などの相違を表す。中国語の「A的…比B…」に相当する。

- (3) 中国の料理は洋食より美味しい。
中餐比西餐好吃。
- (4) このテレビの映像はあのテレビよりずっと美しい。
这个电视的图像比那个电视好得多。

2.1.3 「Aは～よりPだ」。常識や現実、または人間の感覚、予想などを表す。中国語の「A比…」に相当する。

- (5) 彼の日本語は思ったよりずっと上手でした。
他的日语水平比我想像的好多了。
- (6) あの会社は実際の収入より少なく報告しています。
那家公司汇报的收入比实际的要少。

2.1.4 「Aは～ときよりPだ」。同じ人や物事が異なった時点においてその性質、状態などの相違を表す。中国語の「A比…时候…」に相当する。

- (7) 佐藤君は前よりよく勉強するようになりました。
佐藤比以前学习用功多了。
- (8) 今年の夏は例年より暑い。
今年的夏天比往年热。

2.1.5 「Aは疑問詞＋よりもPだ」。不定の人や物事を比較する場合に使用する。中国語の「A

比＋疑問詞＋都…」に相当する。

- (9) 事件の背景は、彼自身が誰よりも良く知っています。

事件的背景，他比谁都清楚。

- (10) 留学生にとっては、勉強は何よりも大切です。

对留学生来说，学习比什么都重要。

2.1.6 「BよりAを（またはに、へなど）～Pだ」。同じ述語で二つの事柄の性質，状態などを比較して表す表現である。中国語の「A比…B…」に相当する。

- (11) 中国にいた時，ご飯より麺類を食べることが多かった。

在中国的时候，吃面比吃米要多。

- (12) ジュースよりお茶を飲んだほうが健康にいい。

喝茶比喝果汁对身体好。

2.1.7 「AはBよりもPだ」。人や物事を比較する場合に強調して表す表現である。中国語の「A比B还…」に相当する。

- (13) 僕は君よりも一期先輩です。

我比你还早一年。

- (14) 今日は昨日よりも寒い。

今天比昨天还冷。

2.1.8 「Aは（Aのほうが）Bよりよい（ましだ）」。二つの物事の価値を比較する場合に使用する。中国語の「A比B好（または強）」に相当する。

- (15) 数学より，外国語を習ったほうがよい。

学外语，比学数学好。

- (16) こんなものなら，あるよりないほうがましです。

这样的东西，没有比有强。

2.1.9 「AはBより＋数量詞，程度副詞（少し，やや，もっと，さらに，ずっと，まだなど）＋Pだ」。AとBの差がどのくらいあるかを表す。中国語の「A比B…＋数量詞，補語（稍微，更，还など）」に相当する。

- (17) 兄は姉より3歳年上です。

哥哥比姐姐大三岁。

- (18) 南京は北京よりずっと暑い。

南京比北京热得多。

これらの副詞の使い方によって，「AとBを単純に比べて，AのほうがよりPだ」や「AもBも

Pだが、その二者を比べるとAのほうがよりPだ」というように、両者の違いを表すことになる。
例えば、

- (19) 妹は姉より（○もっと、○ずっと、×さらに、×まだ）食べます。

妹妹比姐姐还能吃。

- (20) 私も食いしん坊ですが、家内は私より（○もっと、×さらに、×まだ、○ずっと）食いしん坊です。

我也嘴馋，可是我爱人比我还嘴馋。

(19)と(20)の例文は「もっと」も「ずっと」も使えるが、しかし「もっと」は「妹も姉も食べる」という意味を表す場合にしか用いられない。「ずっと」は単にAとBとの差が大きいことを表すものである。

2.2 「比」の用法¹⁾

「比」は比較表現として使う場合には、人や物事の性質・程度の差、優劣などの比較を表す。具体的な使い方は次のようである。

2.2.1 「A比B+形容詞」。日本語の「AはBよりPだ」に相当する。

- (1) 今年比去年冷。
今年は去年より寒い。
- (2) 他的学习比我好。
彼の成績は私よりいい。

2.2.2 「A比B+副詞（还，更，稍微など）+形容詞」。日本語の「AはBより+副詞（もっと，ずっと，さらに，少し）+Pだ」に相当する。

- (3) 妹妹比姐姐更难看。
妹は姉よりずっと醜い。
- (4) 这个办法比那个还好。
このやり方はそのやり方よりさらに良い。
- (5) 她比你稍微高一点儿。
彼女の背はあなたより少し高い。

ただし、一部の副詞「很」、「非常」、「十分」、「太」は「比」と共に使用することができないことに注意しなければならない。

- × 我比她很多。
- × 你比他非常少。
- × 这个比那个十分好。
- × 田中比佐藤太有钱了。

これらの文はいずれも間違っている。文中の程度副詞は「比」の構文で修飾語になることができない。「比」の構文で修飾語になれる程度副詞は、比較レベルを表す程度副詞の「更」,「还」,「稍微」など、ほんのいくつかしかない。

2.2.3 「A比B+形容詞+補語（一点儿, 一些, 多, 得多）や数量詞」。日本語の「AはBより+副詞（少し, ちょっと, 多く, ずっと）, 数量詞+Pだ」に相当する。

- (6) 这个比那个贵一点儿。
これはあれよりちょっと高い。
- (7) 我的行李比他的少一些。
私の荷物は彼のより少し少ない。
- (8) 今年比去年冷多了。
今年は去年よりずっと寒い。
- (9) 日本东西比中国的东西贵得多。
日本のものは中国のものよりずっと高い。
- (10) 小王比小李大五岁。
王さんは李さんより5歳年上です。

2.2.4 「A比B+動詞」。日本語の「AはBより+動詞」に相当する。

「私は彼より食べる」を中国語に直訳すると、「我比他吃」であるが、これは間違いである。それを正確に訳すれば、「我比他能吃」となる。なぜならば、「比」を使う場合には、比較する内容に必ず程度の差を持っていなければいけないからである。もし程度の差がなければ、比較できないわけである。従って、述語が動詞の文で「比」を使うには、次のようないくつかのパターンがある。

- ① 心理活動や類似の意味を表す動詞は「比」を使った文中にそのまま使える。また、動詞の前に「更」,「还」などの比較を表す程度副詞を付け加えることが出来る。なぜならば、これらの動詞はそれだけで、すでに意味に程度の差があるので、形容詞と似たような形で用いることができる。

- (11) 妹妹比我更想去。
妹は私よりもっと行きたがっています。
- (12) 妈妈比爸爸还喜欢玩儿。
母は父より遊ぶのがずっと好きです。

心理状態を表す動詞、助動詞が述語になる場合にも、後ろに「一点儿」,「一些」,「得多」などの補語を付け加えることができる。

- (13) 小王对东京的事儿比当地人了解得多。
王さんは、東京のことについて、地元の人よりずっとよく分かっています。
- (14) 奶奶比妈妈更疼我一些。

お祖母さんは、母よりもっと私をかわいがってくれます。

もし目的語が名詞または動詞フレーズの場合には、通常、後ろに「一点儿」、「一些」、「得多」などの補語は付かない。

- (15) 他比我了解这儿的情况。

彼は私よりもこの事をよく知っています。

- (16) 哥哥比姐姐喜欢唱歌。

兄は姉よりも歌を歌うのが好きです。

- ② 動詞が一般動詞の時に、単独で「比」を使った文中に置くことはできない。というのは一般動詞はもともと意味そのものに程度の差がないため、比較をすることが出来ないわけである。次の文は成立しないことになる。

× 我比他学。

× 你比她喝。

これらの動詞の場合には、述語部分を程度差が付けられる内容に変える必要が出てくる。普通は次の条件を備えていなければならない。

A 動詞が補語を持つ場合

- (17) 这个人比那个人走得快。

この人はあの人より歩くのが速い。

- (18) 小付比小李靠得住。

付さんのほうが、李さんより信頼できます。

B 動詞にある種の連体修飾語が付いている上に、さらに数量詞目的語、動量詞補語或いは時量詞補語が付いている。

- (19) 今天比昨天少喝了两杯。

今日は昨日より飲むのを2杯控えておきました。

- (20) 我比他多去了一次。

私は彼より1回多く行きました。

- ③ 動詞が「有」の時に、「有+目的語」が述語になる場合には、この動目フレーズも主語を描写するためのものであり、一つの形容詞に似たような意味を表しているので、「比」を使うことができる。

- (21) 小李比小张有能力。

李君の方が張君より能力があります。

- (22) 弟弟比哥哥有钱。

弟は兄より金持ちです。

しかし、もし目的語があったとしても、その意味に程度の差がない場合には、「比」を使うことができない。

× 我比她有衣服。

× 她比我有房子。

また、このフレーズの後ろに「一点儿」、「一些」、「得多」、「多」などの補語を用いることはできない。

(23) 我觉得你讲的比我讲的有点儿道理。

あなたが言っていることは、僕よりやや理屈が通っているような気がします。

(24) 这本书比那本书有意思多了。

この本はその本よりずっと面白い。

しかし、具体的な程度の差を表す数量詞を用いることはできない。

× 她比我有三本书。

④ 動詞が能願動詞である場合には、直接「比」構文を使うことができる。

(25) 我比你喝酒。

私は君より酒を多く飲めます。

(26) 弟弟比妹妹能干。

弟は妹よりやるのが上手です。

ただし、目的語が付いていたとしても、その意味に程度の差がないときは、「比」を使うことができない。

× 你比他能去中国。

また、ときには、「更」「还」などの比較を表す程度副詞を付けてはじめて、「比」構文中に使うことができる。

(27) 你比她更应该好好学习。

あなたは彼女よりもっとよく勉強しなければならない。

⑤ 変化の意味を含む動詞或いは動詞フレーズの後ろに、変化の具体的な数量、程度が付いていれば、「比」を使うことができる。

(28) 田中的汉语水平比以前提高了一点儿。

田中さんの中国語のレベルは、以前より少し高くなりました。

(29) 这次聚会比上次增加了十个人。

今度の集まりは前回より10人増えました。

上に述べた動詞或いは動詞フレーズに「有所」或いは変化がすでに発生したという「了」が付けば、「比」を用いることができる。

(30) 她的病情比去年有所好转。

彼女の病状は去年より良くなりました。

(31) 今年的产量比去年增加了。

今年の生産高は去年より増加しました。

普通、「A」と「B」に具体的にどれぐらいの差があるのかを表す場合には、次のようないくつかの表現の方法がある。

1) 「得多」, 「多了」で, AとBの差が大きいことを表す。

(32) 你比她漂亮得多。

あなたは彼女よりずっときれいです。

(33) 小王比小李的成绩好多了。

王君は李君の成績よりずっといい。

2) 「一点儿」, 「一些」で, AとBの差が割合小さいことを表す。

(34) 姐姐比妹妹胖一点儿。

姉は妹より少し太っています。

(35) 弟弟的钱比哥哥的多一些。

弟の金は兄より少し多い。

3) 数量詞補語か数量詞目的語（動詞の後ろの数量詞は数量詞目的語）を使い, 具体的かつ明確に AとBの間の程度の差を表す。

(36) 我比她高五公分。

私は彼女より5センチ背が高い。

(37) 老程比老付多买了三件。

程さんは付さんより3枚多く買いました。

4) 時量詞補語を使い, AとBの間の時間の差を表す。

(38) 山田比佐治早到十五分钟。

山田さんは佐治さんより15分早く着きました。

(39) 你比我多等了一会儿。

あなたは私よりちょっと長く待ちました。

5) 動量詞補語を使って, AとBの間の回数の差を表す。

(40) 小韩比小徐多来过两次。

韓さんは徐さんより2回程多く来たことがあります。

(41) 我们比他们少念了三遍。

私たちは彼らより3回少なく読みました。

2.2.5 「A比B+増加, 減少などの意味を表す動詞」。日本語の「AはBより+増加, 減少などの意味を表す動詞」に相当する。

(42) 今年的人数比去年增加了百分之五。

今年的人数は, 去年より5%増えました。

(43) 今年的旅行人数比去年减少了许多。

今年の観光客は, 去年より大分減りました。

2.2.6 「A比B+連用修飾語（早, 晚, 先, 后, 多, 少など）+一般動詞」。日本語の「AはBよ

り＋連用修飾語（早く、遅く、先に、後に、多く、少なくなど）＋一般動詞」に相当する。

- (44) 小周比小赵早起一个小时。

周さんは趙さんより一時間早く起きました。

- (45) 今天比昨天晚到了半个小时。

今日は昨日より30分遅く着きました。

これらの連用修飾語＋動詞フレーズの後ろには「一点儿」, 「一些」, 「得多」, 「多」などの補語を付け加えることもでき、また、具体的な数量詞や程度の差を表す補語や目的語を付け加えることもできる。

- (46) 山本比中岛少喝了一点儿。

山本さんは中島さんよりちょっと少なく飲みました。

- (47) 小刘比小张多写了一些。

劉さんは張さんより少し多く書きました。

- (49) 他吃饭比我晚半个小时。

彼は私より30分遅れて食べました。

また、述語が一般動詞で、後ろに形容詞からなる様態補語がある時、形容詞の後ろに「一点儿」, 「一些」, 「得多」, 「多」などの補語を付け加えることもできる。

- (50) 星期天比平常起得晚一点儿。

日曜日は平日より起きるのが少し遅い。

- (51) 他比我跑得快一些。

彼は私より走るのがちょっと速い。

様態補語を伴う形容詞フレーズはその後ろに、具体的な差を表す数量詞を付け加えることができない。

- × 你比小李睡得晚半个小时。

2.2.7 「A比B＋助動詞（会、能、应该など）＋動詞」。日本語の「AはBより＋～」に相当する。

- (52) 部长比社长会说话。

部長は社長より口が達者です。

- (53) 我爱人比我能吃苦。

家内は私より辛抱づよい。

ときには、「一些」, 「得多」, 「多」などの補語を付け加えることもできる。

- (54) 他比我能干得多。

彼は私よりずっと優れています。

- (55) 你应该比他多知道一些。

あなたは彼より多少多く知っているはずです。

2.2.8 「主語＋A比B（連用修飾語）＋述語」。日本語の「主語＋AよりB（連用修飾語）＋述語」に相当する。この種の文の多くは、同一の事物が異なる時間或いは異なる場所においてその状況が異なる」ということを表す。

(56) 他的演讲这次比上次评价好的多。

彼の講演内容は、今回の評価のほうが前回よりずっと良かった。

(57) 这孩子去学校比在家学习用功一些。

この子は学校に行ったほうが家にいる時より、少し真面目に勉強します。

なお、「比」構文において、比較面を表す述語の前に副詞の「更」、「还」、「再」などを使うことができ、これらはAが程度の上でより一層高いというところを表しているが、同時に、Bもすでに一定の程度に達しているという含意がある。

(58) 那里的情况他比我更了解一些。

あそこの様子については、彼の方が私よりさらに良く知っています。

(59) 你以为你聪明，人家比你还要聪明。

自分は頭がいいと思っているが、あちらさんは君よりもっと賢いよ。

(60) 这件衣服比那件再好，我也不买。

この服はその服よりかなり良くても、私は買いません。

(61) 你的说法比他的更有道理。

あなたの言い方のほうが、彼よりずっと理屈に合っています。

2.3 構文中のある成分の省略

「A比B…」の構文中のある成分を省略することができるが、省略に当たっては、誤解を生じないことが原則である。日本語の「AはBよりPだ」の構文中のある成分を省略することに相当する。

2.3.1 中心語の省略

(1) 他的儿子比我的（儿子）大。

彼の息子は私の（息子）より年上です。

(2) 现在的条件比前几年（的条件）好得多。

現在の条件は数年前（の条件）よりずっと良くなりました。

2.3.2 連体修飾語の省略

(3) 你的日语说得比（你的）汉语好。

あなたの日本語は（あなたの）中国語より上手です。

(4) 我弟弟比（我）妹妹学习用功。

私の弟は（私の）妹より良く勉強しています。

2.3.3 連体修飾語と中心語の中の共通部分の省略

- (5) 我们学外语的时间比（我们）学专业（的时间）长。

我々の外国語を習う時間は専門科目よりも長い。

- (6) 他的口译水平比（他的）笔译（水平）高。

彼の通訳のレベルは翻訳より高い。

2.3.4 主述フレーズ中の述語か主語の省略

- (7) 小王睡觉比小李（睡觉）早。

王さんは寝るのが李さんより早い。

- (8) 我（吃饭）比他吃得香。

私は彼よりご飯を美味しく食べられます。

2.3.5 「A比B～」が連用修飾語になる時、通常「比」の前の成分Aを省略する。

- (9) 我的身体比以前好多了。

私の体は以前よりずっと良くなりました。

- (10) 今天我们比上一次谈得好。

今日、我々は前回より良く話し合えました。

2.3.6 「比」の前後がどちらも動詞フレーズか形容詞フレーズである場合には、例え共通部分があってもおおむね省略しない。

- (11) 有文化就比没文化强。

教養があることは、無教養より勝っています。

- (12) 长一点比短一点好。

長めの方が短めよりいい。

2.4 「A比B…」の否定形

「A比B…」の否定形は「A不比B…」であり、日本語の「AはBより～ではない」に相当する。

2.4.1 A不比B+形容詞

- (1) 这件衣服不比那件好。

この服はあの服より良いということはない。

- (2) 他不比他爸爸高。

彼は彼のお父さんより背が高いなんてことはない。

ここに注意しておきたいことは、「比」の否定形の「不比」の「不」が「比」で始まる部分を全部否定しているということである。

例文(2)が否定しているのは、「比他爸爸高」(彼のお父さんより背が高い)という事実で、はっきりと誰が高いかを説明しているわけではない。従って、日本語の「彼は彼のお父さんより背が高くない」の意味とは同じではない。この言葉には二つの可能性がある。

A 彼は彼のお父さんとほとんど同じ背丈です。

B 彼のお父さんのほうが背が高い。

もし、文の後ろに続く説明がなければ、普通はAの方の意味になる。Bの方の意味を表すには、後ろに文が続くのが普通である。

(3) 他不比他爸爸高，比他爸爸矮。

彼は彼のお父さんより背が高いということはなく、彼のお父さんより低い。

(4) 今天不比昨天冷，比昨天暖和。

今日は昨日より寒いことはなく、昨日より暖かい。

また、日本語の比較文では形容詞を否定することができるが、中国語の比較文中では形容詞の否定形は使えない。

そのため、日本語の「彼は彼のお父さんより高くない」という文は成立するが、「他比他爸爸不高」という中国語の文は成立しないのである。

3. 「より」と「比」の相違点

3.1 「より」の用法

3.1.1 「Bより(むしろ)Aのほうがいい」の形で使う場合には、両者を比較して、その中から一つを選ぶという選択の意味を表し、中国語の「与B相比，还是A好」に相当する。

(1) 映画を見に行くより，図書館に行って勉強した方がよい。

与其去看电影，不如去图书馆学习。

(2) 町に行くより，むしろ宿舎で小説を読む方がいい。

上街去不如在宿舍看小说。

3.1.2 「BよりAのほうがPだ」の形で使用する場合には、AとBそのものを比較するのではなく、AとBに対して人間の感情や態度を表すのである。中国語の「比起B还是A～」に相当する。

(3) 僕は歴史より文学が学びたい。

比起历史来，我还是想学文学。

(4) ビールよりウイスキーが好きです。

比起啤酒，还是喜欢威士忌。

3.2 「比」の用法

3.2.1 「比較する，比べ合う」。中国語の「比较」，「互相比」に相当する。

- (1) 我和你比远不比快。

私は君とどこまで行けるか、距離を比べているのであって、速さを比べているのではない。

- (2) 不比吃，不比穿，就比谁干劲大。

衣・食を比べるのではなく、誰の意気込みが大きいかを比べます。

3.2.2 「比較できる，肩を並べる」。中国語の「能比」，「不相上下」に相当する。

- (3) 出门不比在家，遇事要多加考虑。

外に出たら，家にいるようなわけにはいかない。何か起きたときは良く考えなくてはならない。

- (4) 我不比你，你上过大学。

私は君の相手じゃないよ。君は大学を出ているのだから。

3.2.3 「手まねをする」。中国語の「打手势」に相当する。

- (5) 她比着手势叫我进去。

彼女は手振りで，私に中に入るよう促しました。

- (6) 他没说话，只用手比了比。

彼は何も言わず，ただ手まねをしてみました。

3.2.4 「比べ合わせる」。中国語の「互相对比」に相当する。

- (7) 将心比心。

心と心を合わせます。

- (8) 比着身材做衣服。

体に合わせて服を作ります。

3.2.5 「たとえる」。中国語の「比喻」に相当する。

- (9) 把儿童比做花朵。

子供を花にたとえます。

- (10) 你把我比成什么啦？

あなたは私のことを何にたとえているのか。

以上の例文を見て分かるように，「比」は介詞ではなく，動詞として使っているので，「比」は日本語の「より」に置き換えることができない。

4. おわりに

日本語の「より」と中国語の「比」についての先行研究を調べてみたが，残念ながらあまりなかった。それで，日本語の「より」と中国語との「比」の持つ多義的な表現形式などについて色々と

考察した。両語の主な相違を整理すると、次のようにまとめられる。

1) 置き換えられる場合

日本語の「より」は、「AはBよりPだ」、「Aの～はBよりもPだ」、「Aは～よりPだ」、「Aは～ときよりPだ」、「Aは疑問詞＋よりもPだ」、「BよりAを（に、へなど）～Pだ」、「AはBよりもPだ」、「Aは（Aのほうが）Bよりよい（ました）」、「AはBより＋数量詞、程度副詞（少し、やや、もっと、さらに、ずっと、まだなど）＋Pだ」という形で使う場合には、中国語の「比」に置き換えることができる。

中国語の「比」は、「A比B＋形容詞」、「A比B＋副詞（还、更、稍微など）＋形容詞」、「A比B＋形容詞＋補語（一点儿、一些、多、得多など）、数量詞」、「A比B＋動詞」、「A比B＋増加、減少などの意味を表す動詞」、「A比B＋連用修飾語（早、晚、先、后、多、少など）＋一般動詞」、「A比B＋助動詞（会、能、应该など）＋動詞」、「主語＋A比B（連用修飾語）＋述語」、「A比B…」構文中のある成分を省略するという形で使う場合には、日本語の「より」に置き換えることができる。ちなみに、「A比B…」の否定形は「A不比B…」である。

2) 置き換えられない場合

日本語の「より」は、「Bより（むしろ）Aのほうがいい」、「BよりAのほうがPだ」の形で使う場合には、中国語の「比」に置き換えることができない。また、中国語の「比」は動詞として使う場合には、日本語の「より」に置き換えることができない。

注

- 1) 主に、相原茂・片山博美・守屋宏則・平井和之訳（1996年）『現代中国語文法総覧』くろしお出版を参照してまとめたものである。

参考文献

- 大河内康憲（1997年）『日本語と中国語の対照研究論文集』、くろしお出版
 守屋宏則（1995年）『やさしくくわしい中国語文法の基礎』、東方書店
 相原茂・石田知子・戸沼市子（1996年）『中国語文法書』、同学社
 相原茂・片山博美・守屋宏則・平井和之訳（1996年）『現代中国語文法総覧』、くろしお出版
 庵功雄・高梨信乃・中西久実子・山田敏弘（2000年）『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』、スリーエーネットワーク
 庵功雄・高梨信乃・中西久実子・山田敏弘（2001年）『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』、スリーエーネットワーク
 徐一平・陶振孝・巴玺维・陈娟・勝军（2001年）『中文版日本語句型辞典』、くろしお出版
 牛島徳次・菱沼透・伊藤真佐子・上野由紀子・江田いづみ・木野井美紗子・平松正子・麦谷誠子（1992年）『中国語文法用例辞典』、東方書店
 植田渥雄・楊光俊・王聡・河野愛子（1998年）『中国語の文法と使い方55』、三修社